

令和4年度 水揚表彰



山形県漁協水揚優秀船表彰

漁業種類	船名	船主名	所属支所等	
船凍県外 中型船	50t以上	第86若潮丸	石垣漁業(株) 根室漁協	
		第85興福丸	八田漁業(株) 小樽漁協	
底曳網 か	15~20t	第28廣徳丸	池田亀五郎 さかた総合市場	
		10~15t	第21末廣丸	(有)末廣水産 念珠閣総括支所
			萬龍丸	飛塚美和 念珠閣総括支所
	第5平安丸		五十嵐安哉 念珠閣総括支所	
	5~10t	大洋丸	佐藤洋生 念珠閣総括支所	
		恵徳丸	佐藤利光 念珠閣総括支所	
		昭栄丸	佐藤富士喜 念珠閣総括支所	
	5t未満	第2漁吉丸	阿部清浩 さかた総合市場	
		善龍丸	田代善幸 さかた総合市場	
	はえ縄・ 一本釣 刺網ほか	3t以上	第8海運丸	佐藤良太 念珠閣総括支所
			海成丸	本間金弥 念珠閣総括支所
		1~3t	千修丸	本間和憲 念珠閣総括支所(温海)
海皇丸			本間健太郎 念珠閣総括支所	
龍鵬丸			釘持浩 念珠閣総括支所	
海生丸			五十嵐健生 由良総括支所	
定置網	第18仁豊丸	(有)仁三郎 由良総括支所		
採介藻 ほか	1t未満	幸進丸	榊原英樹 由良総括支所	
		白山丸	榊原昭夫 由良総括支所	
鮮いか県内船	10~20t未満	第21清栄丸	大場誠市 由良総括支所	
鮮いか 県外船	30t未満	輝丸	野呂秀樹 えさん漁協	
		第37大輝丸	蛭子美津夫 大間漁協	

水揚優秀船漁撈長表彰

表彰基準	表彰者名	船名
県外船	本間 健	第86若潮丸
	齋藤 茂	第85興福丸

酒田市水揚優秀船表彰

区分	漁業種類	船名	船主名	所属支所等
県外	いか釣	50t以上	第86若潮丸	石垣漁業(株) 根室漁協
		30t未満	輝丸	野呂秀樹 えさん漁協
県内	底曳網	5t以上	第28廣徳丸	池田亀五郎 さかた総合市場
		5t未満	福傳丸	阿部昌樹 さかた総合市場
	いか釣	5~30t	第18陸丸	池田敏行 さかた総合市場
		5t未満	第21大幸丸	讃岐隆 さかた総合市場
	地先	3~5t	第28宝運丸	進藤優一 さかた総合市場(飛鳥)
			第12善宝丸	佐藤喜代一 さかた総合市場
		3t未満	第8双葉丸	本間勤 さかた総合市場(飛鳥)
			善昭丸	佐藤清次 さかた総合市場
	磯見		海幸丸	鈴木芳夫 さかた総合市場(飛鳥)
			第3珠喜丸	進藤一喜 さかた総合市場(飛鳥)

鶴岡市水揚優秀船表彰

漁業種類	船名	船主名	所属支所等
底曳網	10t以上	第21末廣丸	(有)末廣水産 念珠閣総括支所
		萬龍丸	飛塚美和 念珠閣総括支所
		第5平安丸	五十嵐安哉 念珠閣総括支所
	5~10t	清徳丸	佐藤清紀 念珠閣総括支所
		第2千祥丸	佐藤栄一 由良総括支所
沿岸	3t以上	第8海運丸	佐藤良太 念珠閣総括支所
		海成丸	本間金弥 念珠閣総括支所
	3t未満	千修丸	本間和憲 念珠閣総括支所(温海)
定置網		海皇丸	本間健太郎 念珠閣総括支所
		第18仁豊丸	(有)仁三郎 由良総括支所
磯見	1t未満	幸進丸	榊原英樹 由良総括支所
		白山丸	榊原昭夫 由良総括支所
いか市内船	10~20t未満	第21清栄丸	大場誠市 由良総括支所

今期のクロマグロ漁について

今年も、庄内浜沖ではクロマグロ漁が好調となりました。

5月19日を皮切りに180kgを超える大型マグロが多数水揚げされましたが、今年も20kg台から50kg台が多く見受けられています。1日だけで6.5トン水揚げされる日もあり、山形県における大型魚の漁獲は6月9日をもって終了しました。

クロマグロは国が漁獲量の上限を設定し、管理している水産資源の一つにあたります。漁業者の皆様におかれましては、漁獲報告の義務がありますので、設定された漁獲枠を超えないよう、また安全操業の観点においても操業秩序の遵守を念頭におきながら、常に最新の情報に気を配り、安全操業を心がけましょう。次年度も大漁することを祈願いたします。

指導課 佐藤 悠太郎



鼠ヶ関

令和5年度山形県漁業者燃油高騰対策特別支援事業等について

原油価格・物価高騰等に対して、山形県では以下の事業で漁業者の皆さんを支援します。

**申請
不要**

下記事業については、県漁協で燃油か魚箱等の購入数量を確認しますので、漁業者本人からの申し出は必要ありません。

漁業者燃油高騰対策特別支援事業

漁業者が購入した漁業用燃油について、漁業経営セーフティネット構築事業による補填額のうち、漁業者負担分について支援を行います。

補助対象期間

令和5年度第1四半期～令和5年度第3四半期のうち、セーフティネット発動期間（令和5年4月～令和5年12月）

出荷資材高騰対策特別支援

県漁協が販売する魚箱、氷について、値上がり前の価格と購入時点の価格との差額を支援します。昨年の事業から、新たに氷が対象となりました。

補助対象期間

令和5年4月～令和6年2月に購入した以下の資材についてそれぞれの値上がり前の価格との差額分について支援を行います。
魚箱（発泡スチロール製、木製）：令和3年10月31日時点の価格との差額
氷：令和4年12月31日時点の価格との差額

**申請
必要**

下記事業については、漁業者本人から申し出がないと、把握できませんので、該当する場合は、下記記載の提出書類を準備し県漁協各支所に御相談ください。

漁業用資材高騰対策特別支援

漁業者が購入した漁業用資材について、令和3年1月時点からの価格上昇分について支援を行います。

補助内容

令和3年1月1日時点の価格と比べて、購入時点の価格が1割以上上昇した下記漁業用資材について、その上昇分を支援
・エンジンオイル、漁網、ロープ、テグス

補助対象期間

令和5年4月から令和6年2月購入分（漁協購買課以外からの購入も含みます）

提出書類

販売店における令和3年1月1日時点の価格表、領収書

（水産振興課：主査 早坂 瞬）



去る、6月29日(木)から7月18日(火)までの20日間、道の駅「あつみ」しゃりんにおいて、庄内浜直送の鮮魚等を販売する魚屋「さがなあや」を期間限定でオープンしました。

この取組みは、道の駅を訪れる観光客や地域の皆様に、鼠ヶ関の海と庄内浜直送の新鮮な魚介を存分に味わっていただくとともに、「海と魚の鼠ヶ関」の知名度向上のため、道の駅あつみを運営する(株)クアポリス温海が主体となり、テナントである鼠ヶ関水産加工生産組合の販売ブースで行いました。また、令和9年4月には道の駅あつみの移転開業を予定しており、新しい道の駅での水産物販売に繋がられるよう取組んでいるものです。

販売した商品は、庄内浜直送の「鮮魚」や、刺身・干物・総菜等の「水産加工品」であり、特に期間限定の目玉商品として、庄内浜の旬の魚介が日替わりで味わえる「にぎり寿司セット（紅えび、のどぐろ、わらさ、まぐろなど）」は、地元客から観光客まで、幅広い年齢層の多くの方々からご利用をいただき、連日完売の盛況ぶりでした。

次回開催は、9月7日(木)から9月26日(火)までの20日間を予定しています。実施期間中は、販売する魚介類をしゃりんホームページで確認できます。お近くにお越しの際は是非ともお立ち寄りいただけると幸いです。ご来店を心よりお待ちしております。

鶴岡市温海庁舎産業建設課 主事 伊藤 愛斗

～酒と肴と鼠ヶ関～ イカ・マグロまつり2023開催！！



6月17日土曜日の念珠関総括支所の市場は、人で埋め尽くされる大変な賑わいとなりました。それもそのはず、この日はあつみ観光協会鼠ヶ関支部主催の～酒と肴と鼠ヶ関～イカ・マグロまつり2023が開催されたのでした。

アフターコロナにおいて久々に行われた大イベントの目玉は鼠ヶ関港で水揚げされたマグロの解体ショーです。念珠関総括支所の阿部支所長や由良水産加工場の倉田工場長代理が参戦し、さばきたてのおいしいマグロがふるまわれました。また、屋台コーナーではイカやマグロをはじめとする旬の地魚を使った出店、それらを食しながら楽しむ地酒飲み放題コーナー、その場外ではするめをラケットにしたおもしろ卓球大会と、どこもかしこもワクワクで笑顔があふれる大イベントとなりました。

今が旬のイカやマグロが浜の活気に一役買った、すばらしい一日となりました。



サクラマス官能試験に行ってきました！

6月6日(火)おいしい魚加工支援ラボにおいて「サクラマス官能評価試験」が行われました。これは、県の魚であるサクラマスを広く知ってもらいたいと、水産研究所が主催した試みで、水産関係者や一般の方が20名程、そのうち県漁協からは3名出席しました。

官能試験は、参加者になにも情報を明かさず、AとBに分かれた一口大の焼サクラマスを食してもらい、項目ごとに評価してもらうというもので、参加者は皆真剣な表情でにおいや触感を確かめ評価を行っていました。

試験終了後に実は由良沖と酒田市最上川でそれぞれ漁獲されたサクラマスであったと種明かしされると参加者はみな驚きを隠せない様子で、海のほうがおいしかった、川がよかった、いやどちらもおいしかった等口々に感想を言い合っていました。

また、研修会終了後には(公財)山形県水産振興協会の余語滋専門生産技術指導員よりサクラマスに関するセミナーが行われ、サクラマスとヤマメについて、海水魚や淡水魚の塩分の浸透作用の違い等、様々な角度から講和が行われ、「スマルトとは何ですか?」「サクラマスとヤマメの卵に違いはあるのか」などセミナーが終わった後もたくさんの質問が飛び交っていました。

この評価試験から、消費者がどういった特徴をおいしいと感じているのか、集計から明らかにしていくとともに、今後は水産物の味の特徴を可視化することでPRに繋げていくなど発展的な計画があるそうです。今後の水産研究所の研究成果に期待です。



余語指導員のセミナーの様子



全て値上げの
この時期に...



漁協の灯油を 値下げします!

1 令和5年9月1日から
令和5年9月30日まで
期間中にご購入
いただいたお客様は

何度でも
期間内
3円引
※一部事業所を除く

9月に①と
②の併用で
6円引!



さらに!!

2 令和5年9月1日から
令和6年2月29日まで
期間中ホームタンクご利用の
新規お客様をご紹介いただければ
お客様、紹介者様ともに

3円券
有効期限: 令和6年2月29日まで
(1枚につき1回)

進呈いたします!

安〜い!!

電気料も値上がり、家計が厳しいこの時期に。これからやって来る、冬の寒さに備え、

是非、漁協の灯油をご利用ください!!

漁業監視員研修会 開催

これから本格化する夏の行楽シーズン、例年密漁が多発することから、県と漁協から委嘱されている漁業監視員及び漁協職員を対象に、7月4日に漁協本所と由良コミセンで、11日に念珠関総括支所で、漁業監視についての研修会を開催し、40名程が参加しました。漁業関係法令等を学習し、監視業務のポイントや監視員のできること・できないことについて理解を深めました。また密漁の現状について情報を共有し、意見交換を行いました。

<監視業務のポイント>

- ☞ 挨拶から始めよう!
- ☞ 漁業監視であることの説明
- ☞ 分かりやすく丁寧な声掛け
- ☞ 感情的にならないこと!
- ☞ 暴力・脅迫はダメ! 絶対!
- ☞ 漁業制度の内容を理解
- ☞ 安全第一!



ストップ・ザ・密漁



【庄内総合支庁水産振興課 漁業調整担当】

JF共済全国推進・表彰大会



JFやまがた『共水連会長表彰(総合の部)』受賞!!

7月12日、東京都千代田区の帝国ホテル東京で「2023年度 J F 共済全国推進表彰大会」が開催されました。

本大会は、2022年度ならびに前3か年計画(2020~2022年度)において、J F 共済の加入推進に尽くした J F の成果に対して他の模範として表彰することを目的に開催されているものです。

今年度、J F やまがたが「共水連会長表彰(総合の部)」を受賞。大会には佐藤信用共済課長よりご出席いただきました。

大会当日は表彰式その他、歌手の鳥羽一郎さん、J F 共済イメージキャラクターの瀬口有希さん、川野夏美さん、竜徹日記による歌謡ショーも行われ6年ぶりの開催となる大会に華を添えました。

酒保の海だより

酒田海上保安部から皆様のお役に立つ情報第八弾!!
皆さまより「AISって何だあ〜?」・・・という質問が多数ございましたので簡単にご説明

AIS(エーアイエス:船舶自動識別装置)

AISとは、船舶の船名、位置、針路、速力等の運航に関する情報を船舶局相互間又は船舶局と海岸局との間において送受信する機能を有するシステムで、AタイプとBタイプの2種類があり、それぞれの特徴は以下のとおりです

Aタイプ(大型船用)

- ・装置が大型で高価(150万円ほど)
- ・動静情報と航海情報を発信
- ・通信間隔2~10秒(ほぼリアルタイムに表示可)
- ・通信範囲は数十キロと広い(12.5W出力)
- ・無線局の免許が必要

Bタイプ(漁船・プレジャー用) 簡易型とも呼ばれています

- ・装置が小型(弁当箱位)で安価(約6万円から)
- ・動静情報のみを発信
- ・通信間隔30秒~3分とリアルタイム表示に欠ける
- ・通信範囲は数キロと狭い(2W出力)
- ・簡単な手続きで運用可能



Bタイプはリアルタイム性に欠けますが網引きや底曳きなど船速が遅く、操船不自由な時に大型船に早く気付いてもらう、海中転落や体調不良、ケガなどで操船不能になった場合に自船位置を見つけてもらうという手段として有効です

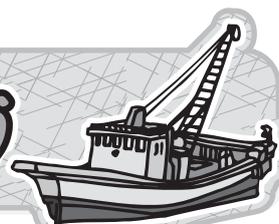


海の事件・事故は電話118番

酒田海上保安部



何でも魚ッティング



庄内夏の風物詩

私にとっての夏の風物詩といえば、ビールとだだちゃ豆ですが、お盆の帰省時に楽しんでいたのが、イガイの味噌汁です。

イガイとは、日本各地の沿岸部に分布している二枚貝であり、庄内では地域によって相当の資源量があります。庄内ではイガイのことを“イゲ”と呼んでおり、7～8月の“お盆の時期に食べる貝”として、親しまれています。このため、イワガキと同じように、庄内の夏には欠かせない食材です。

しかし、残念ながら、県内の内陸地域では、イガイを食べる機会が少なく、見た目が似ているムラサキイガイ（通称、ムール貝）と混同している方もいると聞きます。イガイは、ムラサキイガイに引けをとらない美味しい貝なのに、あまり知られておらず、食べられていないのはもったいないと感じます。

水産研究所では、令和4年度から、イガイ活用の研究に取り組んでおり、お盆（7～8月）以外の時期でも、美味しい時期があるということが分かってきました。今後、生態調査や官能評価などを通じて、漁獲適期や食味の良い時期を明らかにし、水産的価値を向上させたいと考えています。

近い将来、イガイの需要が拡大し、山形県の新たなブランドとすることが私の野望です。

山形県水産研究所 浅海増殖部 五十嵐 大将

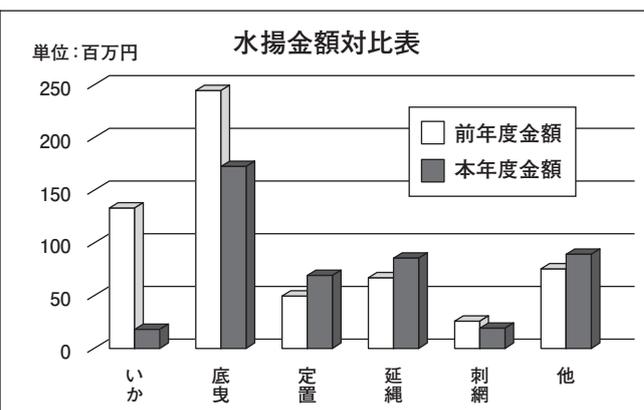
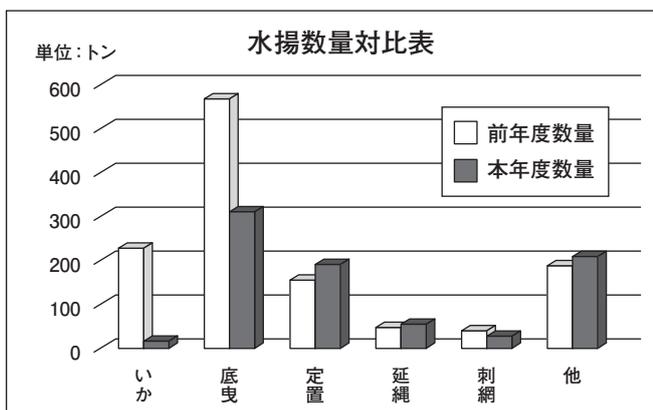


前年度水揚金額対比表

令和5年6月30日現在

(単位：kg, 千円)

	6月数量	本年度数量	前年度数量	数量増減	6月金額	本年度金額	前年度金額	金額増減
1 底曳網漁業	146,278	310,547	566,387	▲255,840	75,949	171,655	243,126	▲71,471
2 刺網漁業	6,107	25,855	38,263	▲12,408	4,118	18,519	25,417	▲6,898
3 いか一本釣漁業	2,290	14,690	228,327	▲213,637	2,777	17,578	132,508	▲114,930
4 船凍いか釣漁業	0	0	0	0	0	0	0	0
5 はえなわ漁業	28,758	54,095	45,267	8,828	55,086	85,516	66,849	18,667
6 ごち網漁業	8,042	10,206	11,191	▲985	4,938	5,932	5,400	532
7 定置網漁業	62,960	192,824	154,898	37,926	18,519	69,765	49,372	20,393
8 採貝藻漁業	12,066	27,269	16,739	10,530	9,901	31,340	22,899	8,441
9 その他の漁業	62,581	166,444	154,355	12,089	19,800	44,157	38,782	5,375
10 張網漁業	1,073	4,839	5,554	▲715	651	2,694	2,834	▲140
11 遊漁、直売、県外	0	0	0	0	2,013	5,031	5,377	▲346
合計	330,155	806,769	1,220,981	▲414,212	193,752	452,187	592,564	▲140,377



水揚情報

令和5年6月30日現在

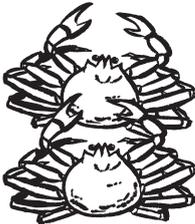
(単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
5月末迄水揚累計		255,417	10,669	4,579	48,456	29,695	45,838	35,722	6,960	73,498
月間水揚	県内船水揚	189,801	11,359	10,276	37,062	13,219	31,384	22,094	10,015	54,392
	県外船水揚	1,936	0	0	1,936	0	0	0	0	0
	合計	191,737	11,359	10,276	38,998	13,219	31,384	22,094	10,015	54,392
前年同月水揚		233,828	8,538	4,863	70,456	10,329	22,774	16,667	4,955	95,246
本年度水揚	県内船水揚	433,004	22,028	14,855	76,951	42,914	76,933	57,816	16,975	124,532
	県外船水揚	14,151	0	0	10,504	0	289	0	0	3,358
	合計	447,155	22,028	14,855	87,455	42,914	77,222	57,816	16,975	127,890
前年度水揚累計		587,192	21,073	13,714	168,807	36,194	75,017	48,032	14,161	210,194
増減		-140,037	955	1,141	-81,352	6,720	2,205	9,784	2,814	-82,304
本年度水揚計画		2,560,000	105,000	79,000	1,066,000	145,000	328,000	200,000	34,000	603,000
達成率		17.4%	20.9%	18.8%	8.2%	29.5%	23.5%	28.9%	49.9%	21.2%

今あがっている魚

- 6月のベストテン -

前年対比 増↗減↘変らず→

水揚金額(千円)				漁獲量(kg)			
1	まぐろ類	55,392 ↗		1	べにずわい	48,540 ↗	
2	ほっこくあかえび	18,813 ↗		2	ぶり・いなだ	44,526 ↗	
3	た い	18,292 ↗		3	ほ っ け	40,506 ↗	
4	するめいか	14,854 ↘		4	た い	29,326 ↗	
5	ぶり・いなだ	10,378 ↗		5	まぐろ類	27,614 ↗	
6	かき貝	8,562 ↗		6	するめいか	17,567 ↗	
7	べにずわい	6,796 ↗		7	ほっこくあかえび	12,049 ↗	
8	ほ っ け	4,667 ↗		8	に ぎ す	11,350 ↗	
9	さ ざ え	3,933 ↗		9	た ら	9,375 ↗	
10	ひ ら め	3,605 ↗		10	か き 貝	8,721 ↗	

月間MVP

月間MVP

◇卒業・進学・就職・異動と忙しい春から早くも3カ月が経ち、うっとうしい梅雨を経て今月号が発行される7月末には梅雨が明け、今年も暑い夏を迎えようとしています。

◇私が入組した平成17年当時は、底曳網も定置もはえ縄や刺し網も、入組3日目にはいか釣りの荷揚げも始まり、とにかく「海にはこんなにも魚がいるのか」と思うほど魚があつたイメージがあります。市場の中では右も左も分からない私を指導してくれた先輩職員に必死に付いて歩いて「今日は漁があるなあ」とか「今日は〇〇が大漁でよかつたなあ」と言った声掛けをいたたくも、確かに魚はいっぱい揚がっているけど何が何だか分からず働いていたころを懐かしく思っています。

◇4月からの漁模様を振り返ると、何と云っても「漁がない!」という印象を受けるのは私だけではないと思います。組合員さんの漁獲物を預かって共販する販売事業を始めとする経済事業が漁業協同組合の基幹事業であることに変わりはありませんが、これだけ漁獲量が減ってしまったのは、販売事業に付随する購買事業や製氷冷凍事業、前浜で水揚げする漁獲物を利用した加工事業にも深刻な影響を与えています。

◇先の記事でご紹介した通り、組合員の皆さんをはじめとする漁業関係者に皆さんに安心して利用していただき信頼される漁業協同組合事業を継続するために「水揚げだけに頼らない」組合運営を目指しています。今年は4月から販売手数料を1%上げさせていたいただいており、先の1月には水供給単価の見直しを実施しています。「水揚げだけに頼らない」事業運営として、例えば員外への燃油供給やライン・共済推進、庄内海丸での産直事業の拡大など市場利用者だけに負担をお願いするのではない仕組みを検討し、体制構築に向けて役員一丸となり努力してまいります。

◇今年度の通常総代会は58回を数えました。当組合は、昭和40年に全国初となる一県一漁協として合併し、その節目となる60周年は目前と近づいています。その節目を笑顔で迎えることができるよう、庄内浜の恵みを永続的に利用することができるよう祈ってやみません。今後とも、組合員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

信用共済課長 佐藤 健

編集 後記

浜の笑顔を共済とともに

万里の波濤を超えてゆく

船速いかつり船出航式



去る6月11日(日)、「船速いかつり船出航式」が酒田港袖岡ふ頭で行われ、酒田船団7隻のうち4隻が出航しました。

航海の安全と大漁を祈禱する式典では、船団長である第86若潮丸の本間漁労長が、「これまでの漁師人生において、これだけ多くの国際問題を抱え、いかを取ることには専念できない状態が続くことはなかった。現場で最善を尽くし、他船団から負けない成績を残すのが山形船団の真骨頂。本日、皆さんの思いを心に刻み出航する。」と挨拶し、乗組員の家族に安全と大漁を誓いました。

出航の予定時刻が訪れると、酒田市を拠点に活躍する「太鼓道場風の会」の迫力ある太鼓演奏とともに、まずは第86若潮丸が先頭を切り、続いて第23輪島丸、第31永宝丸、第68栄成丸と次々に出港していきました。見送りに集まった家族や水産関係者はみな口々に「頑張れ!」「気を付けて!」などエンジン音に負けない大きな声で励ましながら、色鮮やかな紙テープとともに手を振り送り出しました。この先、酒田港を出航した船団はスルメイカの群れを追いながら北海道沖やロシア海域まで北上し、外国漁船がひしめき合う大変危険な漁場において、過酷な操業を半年ほどかけて行います。船団の皆様の航海安全と大漁を心からお祈りしています。

加茂のカモンマーレにカモ〜ン!



鉄骨造3階建ての建物です



6月24日(土)、鶴岡市加茂地区にカモンマーレがオープンしました。

カモンマーレは、鼠ヶ関のバリアフリービーチなど環境改善や環境教育に取り組む「NPO法人エコ・リンクやまがた」が、日本財団の補助事業「渚の交番プロジェクト」を活用して整備したもので、全国では13番目、東北の日本海側では初の「渚の交番」です。

「渚の交番」と言っても警察施設ではなく、「海に関わる人々の交流の場所づくり」として企画されたもので、カモンマーレでは、庄内浜の魅力を多くの人々から楽しんでもらえるよう、サップやカヌー、磯遊び等の海洋体験や、海の生き物や環境汚染などを学ぶ海洋教育、低利用魚を含む地魚を使ったイタリア料理の販売などに取り組みます。

また、鶴岡市としてもカモンマーレの完成を加茂地区の活性化を図る絶好の機会と捉え、自治振興会、加茂水族館、DEGAM、教育委員会、市とカモンマーレで連携協定を結び、交流人口増大による地域産業の振興や、未来を担う子供たちに地元の海や漁業を知ってもらう教育活動などに取り組んで参ります。

そして、カモンマーレでは海の魅力を伝える仲間を随時募集中です。興味を持った漁業者の皆様、ぜひ一度訪れていただくと幸いです。

鶴岡市農林水産部農山漁村振興課 主査 五十嵐 崇



カモンマーレの詳細はこちらでチェック

